

# 報 雜

## 人 事

<p>衛生局勤務ヲ命ス 防疫官 入 倉 榮 暉 (五月十二日)</p> <p>岡山醫科大學助教授 北 山 加 一 郎 (五月二十二日)</p> <p>本俸七級俸下賜 叙從六位 正七位 花 室 憲 章 (五月一日)</p> <p>防疫官 入 倉 榮 暉 (五月二十九日)</p> <p>勅任旨ヲ以テ待遇セラル 叙從六位 正七位 佐 藤 一 衛 (五月二十六日)</p> <p>陸軍一等軍醫正七位 佐 藤 一 衛 (五月二十六日)</p> <p>特旨ヲ以テ位一級被進 叙正五位 從五位勳六等 入 倉 榮 暉 (五月二十九日)</p> <p>岡山醫科大學助教授 武 田 縫 次 (六月一日)</p> <p>岡山醫科大學助教授 上 代 皓 三 (六月二日)</p> <p>在外研究中俸給百分ノ四十ヲ支給ス 叙正六位 從六位 田 川 輝 太 郎 正七位勳五等 西 村 英 二 正七位 大 橋 要 人 (各通) 正七位勳六等 小 出 宗 次 正七位 喜 多 島 健 麿 叙從六位 (五月十五日)</p>	<p>正五位勳五等 横 川 定 叙勳四等授瑞寶章 (六月十五日)</p> <p>正七位 清 水 伸 叙勳六等授瑞寶章 (六月十五日)</p> <p>岡山醫科大學教授 清 水 多 榮 補岡山醫科大學附屬圖書館長 職務俸金千貳百六拾圓下賜 岡山醫科大學教授 生 沼 曹 六 依願岡山醫科大學附屬圖書館長ヲ免ス 職務俸金千八拾圓下賜 (六月十六日)</p> <p>九州帝國大學教授 赤 岩 八 郎 昭和六年六月分ヨリ醫學部附屬醫院醫院長職務俸金 七百九拾八圓下賜 岡山醫科大學教授 好 本 節 昭和六年六月分ヨリ職務俸金千九百五拾圓下賜 叙正四位 從四位勳三等 八木田 九一郎 (六月一日)</p> <p>陸叙高等官四等 地方技師 進 藤 斧 吉 (六月一日)</p> <p>叙正七位 野 崎 美 稔 (六月一日)</p>
---	--

- 筒井徳光君 は豫て眼科學研究の爲め歐洲留學中の處去月 28 日無事歸朝せられたり
- 三舟淳夫君 は豫て姫路市立北條病院に勤務し居られしが今般岡山醫科大學小兒科教室に轉勤せられたり
- 川西英雄君 は今般岩手縣一關町昭和病院を辭し岡山醫科大學泉外科教室に勤務せられたり
- 坂井芳次郎君 は今般廣島縣庄原町庄原病院を辭し岩手縣一關町昭和病院に勤務せられたり

- 畠山 柘一君 は豫て兵庫縣立神戸病院に勤務し居られしが今般兵庫縣氷上郡柏原町々立柏原病院に轉勤せられたり
- 今川 誠一君 は豫て岡山醫科大學小兒科教室に勤務中なりしが今般辭職松山市四番町守家醫院に於て診療に従事せられたり
- 山本 宗平君 は豫て岡山醫科大學に於て研究中なりしが先般同大學を辭し津市常盤町に於て眼科専門を以て開業せられたり
- 野上 尙志君 は豫て北海道帝國大學醫學部眼科教室に於て研究中なりしが今般研究の傍ら札幌市北一條西四丁目第一徴兵「ビルヂング」第七號室に於て開業せられたり
- 金光 康生君 は豫て京都市に於て開業し居られしが先般廣島縣蘆品郡府中町に移轉開業せられたり

三好正則君逝く 君は明治41年岡山醫學專門學校を卒業し岡山縣病院内科に勤務し辭職後當市に於て開業し數年前兵庫縣赤穂郡鹽屋村に轉じ診療に従事し居られしが昨年末より病氣に罹り靜養に力められしも其效なく遂に本月10日永眠せられたり洵に痛惜に堪へず謹みて弔意を表す

- ◎學位授與 吉本精一、多久愛次郎、村上憲佑、山本宗平の4君は豫て論文を岡山醫科大學に提出し學位を請求し居られしが去4月20日教授會を通過し本月3日醫學博士の學位を授與せられたり
- 又野上尙志君は論文を北海道帝國大學醫學部に提出し學位を請求し居られしが去4月23日の教授會を通過し本月9日醫學博士の學位を授與せられたり

吉 本 精 一 君

主 論 文

筈形二口蟲病ノ新陳代謝ニ關スル實驗的研究

第1回報告 實驗的筈形二口蟲病家兎ノ窒素新陳代謝ニ就キテ (昭和5年8月岡山醫科大學歐文業府第2卷第1號ニ發表セリ)

第2回報告 實驗的筈形二口蟲病家兎ノ尿中磷及ビ「カルシウム」ニ就キテ (昭和5年12月岡山醫科大學歐文業府第2卷第2號ニ發表セリ)

第3回報告 實驗的筈形二口蟲病家兎ノ「プリン」新陳代謝ニ就キテ (同上誌ニ發表セリ)

參 考 論 文

1. 實驗的筈形二口蟲病家兎肝臟ノ化學的成分ノ量的變化ニ就テ (本誌第43年第5號ニ發表セリ)
2. 筈形二口蟲病家兎ニ於ケル血液凝固時間ノ變化ニ就テ (本誌第43年第2號ニ發表セリ)
3. 死體血液中「アルコール」ノ意義ニ就テ (本誌第43年第6號ニ發表セリ)
4. 臥位ニ於ケル縊死ノ1例 (本誌第42年第6號ニ發表セリ)

多 久 愛 次 郎 君

主 論 文

「クレアチニン」新陳代謝ニ及ボス膽汁酸ノ影響

- 其1 尿「クレアチニン」排泄ニ及ボス膽汁酸ノ作用ト腹部交感神經切斷 (昭和5年10月外字生  
化學雜誌第12卷第3號ニ發表セリ)
- 其2 尿「クレアチニン」排泄ニ及ボス膽汁酸及ビ諸種植物神經毒ノ作用ニ就テ (昭和6年3月外  
字生化學雜誌ニ發表セリ)

參考論文

1. 尿「クレアチニン」排泄ニ及ボス「アドレナリン」及ビ膽汁酸ノ影響 (上代皓三, 多久愛次郎共著)  
(昭和4年10月外字生化學新誌第11卷第2號ニ發表セリ)
2. 膽汁酸ノ血糖降下作用ニ及ボス諸種内分泌物質副交感神經毒「アルカロイド」及ビ鹽類ノ影響  
(昭和3年7月外字生化學第9卷第2號ニ發表セリ)
3. 赤血球ノ糖滲透作用ニ及ボス膽汁酸ノ影響 (昭和4年11月岡山醫科大學歐文業第1卷第3  
號ニ發表セリ)
4. 糖排泄及ビ糖同化作用ニ及ボス膽汁酸ノ影響 (同上誌ニ發表セリ)

村 上 憲 佑 君

主 論 文

人類子宮ノ藥理學的研究

- 其1 子宮ノ自働運動及ビ神經司配 (本誌第43年第11號ニ發表セリ)
- 其2 子宮緊縮藥, 筋毒其他二三藥物作用ニ就テ (本誌第42年第19號ニ發表セリ)
- 其3 妊, 非妊時ニ於ケル人類子宮ノ自働運動並ニ二三藥物ニ對スル反應ノ比較 (本誌第43年  
第1號ニ發表セリ)

參考論文

1. 二, 三「ヒューン」誘導體ノ家兎子宮並ニ其附屬器ニ於ケル作用殊ニ「アドレナリン」トノ相互作用  
ニ就テ (本誌第42年第7號ニ發表セリ)
2. 「マウス」及ビ青蛙ニ於ケル種々ノ藥物ノ致死量ノ比較並ニ藥物併用ノ毒力ニ及ボス影響 (本誌  
第42年第9號ニ發表セリ)
3. 人臍帶血管並ニ胎盤血管ノ藥理學的研究  
第1報 自律神經毒ノ作用ニ就テ (本誌第42年第12號ニ發表セリ)
4. 人臍帶血管並ニ胎盤血管ノ藥理學的研究  
第2報 神經筋毒並ニ筋毒ノ作用ニ就テ (本誌第43年第1號ニ發表セリ)
5. 人類子宮圓韌帶ノ藥理學的研究 (本誌第43年第6號ニ發表セリ)

山 本 宗 平 君

主 論 文

赤血球沈降速度ニ影響スル諸種物理學的条件ニ關スル研究

- 第1回報告 (本誌第42年第11號ニ發表セリ)
- 第2回報告 (本誌第42年第12號ニ發表セリ)

## 第3回報告 (本誌第43年第8號=發表ノ豫定)

## 參考論文

1. 各種動物ノ調節機安靜時ニ於ケル屈折狀態(Normale Refraction)ニ關スル實驗的研究 (本誌第43年第6號=發表セリ)
2. 鳥類ノ眼ノ調節機轉(Accommodationsmechanismus)ニ關スル實驗的研究 (追テ本誌=發表ノ豫定)
3. 哺乳動物ノ眼ノ調節機轉(Accommodationsmechanismus)ニ關スル實驗的研究 (追テ本誌=發表ノ豫定)
4. 爬蟲類中殊ニ蛇類ノ眼ノ調節機轉(Accommodationsmechanismus)ニ關スル實驗的研究 (追テ本誌=發表ノ豫定)
5. 脾臟別出ノニ, 三血液性狀ニ及ボス影響 (本誌第42年第3號=發表セリ)

野 上 尙 志 君

## 主 論 文

「トラホーム」性組織内ヨリ分離シ培養シ得タル特殊微生物ニ關スル研究

◎**學位授與決定** 兒島俊亮君は豫て論文を九州帝國大學醫學部に提出し學位を請求し居られしが本月19日の教授會を通過し醫學博士を授與すべく決定せり其主論文は左の如し

過酸化酵素ニ關スル研究

◎**第3回關西高專野球大會** 岡山醫科大學主催の同會は去月30, 31の兩日同學學庭に於て開催せり。參加校は長崎高等商業學校外6校にして高松高等商業學校優勝したり

◎**神戸通信 十日會** 十日會の例會も何か新機軸をと思ひますが何分にも開業されて御多忙の會員が多いものですからそれも出來ませず、例によつて簡単な晚餐を共にする他はありませんでした。場所は市内相生町三輪亭で、料理は「すき焼」。時節柄一寸暑すぎましたが我慢を願ひました。出席者は次の通りです。尙ほ當日偶然當地に御來遊になつた母校稻田内科の岩井知義君にも來ていただきまして大變賑ひました。

和田 達郎	水田 泰了	高橋彌宗一	香川 弘毅	駒井 潔	齋藤 出羽
安永 謙逸	中村 松男	石川 適	藤原 政雄	藤原 良人	人見楠右衛門
渡邊 清	伊藤 英雄	水野 善一	山本 陸治	藤田 境太	馬詰 征平
◎滋野井至孝	◎本城 定男	勝呂 學	林 孝彦	◎立石 力	山本 覺圓
松島 朗	長谷川恒治	岩本 靜夫	石田 幾馬	木津 政夫	太田 厲司
内田綱太郎	清水 勝男	佐野 實	山中 豐二	小澤 清躬	河合 忠義
宮原 正康	赤岩 亨二	田和 輔	岩井知義(稻田内科)	戸田 亨	渡邊 傳二

◎印は新入會員

(戸田, 渡邊)

◎**投稿内規變更** 今般岡山醫學會雜誌並に岡山醫科大學歐文業府の投稿内規の一部分を變更し何れも次號より實施することとなりたり詳細は別項に就て見らるべし